

49.9%

特別食比率

測定値の定義・計算方法

Process

分子：

特別食件数

分母：

入院食事療養費件数

活動のきっかけ

食事療養は治療の一環であり、特別食の実績を把握することで、患者の病態に応じた適切な入院食（治療食も含む）が提供できているかの指標となり管理に繋がられる。

改善活動部門

- 栄養管理部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">入院早期に特別食の必要性の有無を含む評価を行い、医師へ特別食を提案することができ、入院2日以内に病態に応じた適切な入院食が提供できた。早期介入及び医師への特別食提案が定着化でき、目標値以上の割合で推移できた。	<ul style="list-style-type: none">今後も活動を継続し、入院早期より病態に応じた適切な入院食の提供が出来るようにする。